

在宅で認知症を支える

～認知症を早くみつけて、しっかり支えよう～

日時：平成25年10月5日（土） 14:00～16:30

場所：岡山衛生会館 5階 中ホール

認知症高齢者の増加が見込まれる中、厚労省は平成25年度から「認知症施策推進5カ年戦略」を進めています。その中核となるのが、早期発見・初期集中支援で、認知症が重症化する前に早期介入するというものです。

今回のワークショップでは「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた環境で暮らし続けられる社会」を実現できるよう学習し、経験を出し合い、共に学びましょう。



「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた環境で暮らし続けられる社会」を実現できるよう学習し、経験を出し合い、共に学びましょう。

【講師紹介】



広島県出身

平成5年 米国アイオワ大学医学部ハワード・ヒューズ医学研究所留学

平成11年 川崎医科大学神経内科学教授

平成21年 川崎医科大学副学長 現在に至る

専門：臨床神経内科学、神経・筋疾患、神経変性疾患、パーキンソン病
認知症など

研究：遺伝性神経・筋疾患の分子発症機構の解明と治療法開発

(第一部) 講演 14:10～15:00

「認知症の早期発見・対応・支援の方法」

川崎医科大学 神経内科学教室 砂田 芳秀 教授

(第二部) グループディスカッション 15:10～16:15

- ① 認知症を早期に発見するための工夫
- ② 早期認知症ケアのあり方（医師とのかかわり方）
- ③ 認知症を地域で支えるとは

(討論・総括) 16:15～16:30

参加費:500円（会員外 1,000円）

参加申込み:参加者数把握のため裏面により、9月21日までに
お申込みいただければ幸いです。当日参加も可能です。

主催 岡山プライマリ・ケア学会・岡山県医師会

(お問い合わせ先: TEL086-272-3225 FAX086-271-1572)